



# 2013春闘



4月5日四条河原町 宣伝行動

# 改正労働契約法 高齢雇用安定法 4月から施行

4月1日から労働契約法、高齢雇用安定法の改正法が施行されました。  
改正法は、有期雇用の規制など不十分な点も多いため、改正の主旨を生かして職場で活用することが必要です。「人間らしく働くルール」の確立、ディーセントワークの実現をめざして取り組みをすすめていきます。

## 「改正」労働契約法

### 無期労働契約への転換、不合理な労働条件の禁止

有期労働契約が反復更新されて通算5年を超えたときは、労働者の申込により、期間の定めのない労働契約（無期労働契約）に転換できる制度が創設されました（法18条）。しかし、無期労働契約転換後の賃金・労働条件は、別段の定めがない限り直前の有期労働契約の時と同じとされ、6ヶ月以上の空白期間があれば労働契約のクーリング（通算期間の中断）が可能とされています。また、5年のカウントは2013年4月1日以降の有期労働契約が対象で、それ以前のもはカウントに含まれないなどの問題があります。

職場では、5年のカウントを待たず無期労働契約への転換を

期間の定めがあることを理由とした不合理な労働条件の禁止が定められました（法20条）。通勤手当の支給、食堂の利用、安全衛生などの業務・職務と関係のない労働条件は特段の理由のない限り無期労働契約者と同等の扱いをしなければなりません。

職場では、有期を理由とした不合理な労働条件がないかチェックし、均等待遇実現をめざしましょう。



4月11日、日比谷野外音楽堂

## 消費税増税ストツプを

### 全国から5000人

## 「改正」高齢雇用安定法

### 希望者全員を継続雇用の対象に

今回の主な「改正」内容は、継続雇用制度の対象者を限定できる仕組みの廃止、継続雇用制度の対象者を雇用する企業の範囲を自社だけでなくグループ企業まで拡大、義務違反の企業に対する企業名公表規定の導入です。ただし、厚生年金の比例報酬部分の受給開始年齢に到達した以降の者を対象に、労使協定により

定める基準により限定できる仕組みを利用できる経過措置が設けられています。法「改正」の主旨は希望者全員を継続雇用の対象にするを踏まえ、①希望者全員を再雇用する、②まともな生活が出来る賃金水準を確保する、③働き続けることができる職場環境を整備する、などの実現めざして取り組みましょう。

都宮健児氏が「貧困と格差の拡大を解消するために消費税増税を中止し、富裕層への課税を強化して所得の再配分が必要。連帯してたたかろう」と訴えました。  
「消費税増税にストップをかけるために大きな世論をつくらう」との主催者あいつ。呼びかけ人を代表して、ジャーナリストの齋藤貴男氏が「消費税増税は経済を根底から崩すもの。一人ひとりのいのちそのものにかかってくる。何としてもたたきつづけて」と、宇

消費増税中止を求める国民集会在、4月11日東京・日比谷野外音楽堂で開かれました。全国から5000人が参加し、会場に入りきれない人も出る程熱気ある集会となりました。

## みんなで賃上げを宣伝

京都総評は、4月5日、四条河原町近くのターミナルなど8ヶ所で、「フットコをあたためて、地域も元気に」との春闘宣伝を実施しました。

この宣伝行動には約100名が参加し、ちらしを約2000枚以上配布しました。吉岡徹議長をはじめ役員が、「賃金引上げなしに地域経済がよくなるはない」「2兆円以上ものぼろ公務員金の削減や消費税増税、TPP参加などは、日本の経済の建て直しに逆行する」「最低賃金の大幅引き上げを」「緊急経済対策

## 最賃署名スタート

賃金の引き上げが必要との声を背景に、最低賃金の引き上げの動向に注目が集まっています。請願署名の取り組みを通じて最低賃金の引き上げが必要との世論を大きくしましょう。

## 総評フラッシュ



4月5日

### 労働相談ホットライン

4月5日、全国いっせい労働相談ホットラインを実施。関西テレビの昼のニュースで相談の様子が放映され、それを前後して相談が一気に増えました。13件の相談がありました。



### 4月10日 府南部の職場訪問を実施

京都総評は4月10日、組織の拡大強化の一環として府南部の職場訪問を実施しました。単産と地区労協から24人が参加し、宇治市以南の医療、福祉、サービスなどの職場を訪問し、福祉署名への協力やTPP参加に反対するとりくみへの協力、ユニオンアップ2013の案内などをしました。25職場を回りましたが、多くのところで責任者や労働組合の代表などとの対話ことができました。



### 4月15日 年金宣伝を実施

京都総評などでつくる、安心年金つこう京都連絡会では、4月15日に定例年金宣伝を四条烏丸で行ない、若者が将来に希望の持てる年金制度をつこうと、呼びかけました。



4月18日

### 争議への支援を訴え

争議の早期解決を求めて定例の宣伝を京都駅前で行ないました。JAL不当解雇撤回闘争は東京高裁で、全厚生不当解雇撤回は人事院で、それぞれ重大局面を迎えており、道行く人に訴えました。



## ヒロちゃんが行く！ 単産訪問 ⑥

化学一般の森下書記長にお聞きしました。

### 化学一般 京滋福地本

のプラスチック製品、顔料、染料、砥石、化学製品の中間原料など多岐に及びます。

Q. 化学一般の紹介をお願いします。  
A. 化学一般京滋福地本は、全国で約1000企業名の組合が結集している化学一般労連という産業別組織の京都・滋賀・福井にある25の企業の組合が

集まった単産です。業種は化学産業を中心とした製造業で、企業規模は10名〜600名の中堅中小企業が集まっています。京滋福地本に結集している組合員は約2千名。作っている製品は塗料、多種



京都テルサにて約200名が参加した春闘決起集会で挨拶する長田委員長

Q. 多くの企業が、製品の原料を原油から派生する材料を用いていますので、原油価格が企業の業績に直結します。又、円安に振れると原料が値上がりし、これも企業業績に影響します。しかし、輸出をしている企業では、円安は歓迎だが円高になるとたいへんです。現在60歳〜65歳までの雇用延長に取り組んでいます。賃金は「夫婦二人の生活費を満たす金額」を目標としています。「仕事は真面目に、要求は大胆に、仲間は大切に」が化学一般のスローガンです。